

## 鬼北町家庭用生ごみ処理 機購入費補助について

環境保全課 内線313

一般家庭から排出される生ごみの排出抑制と減量化を図るため、一般家庭で生ごみ処理機を購入される方に対し、購入費用の一部を補助します。

### 補助対象者

鬼北町に居住し、一般家庭で生ごみ処理機を使用する方。ただし、一世帯1台とする。

### 補助金の額

購入価格の2分の1以内（2万円を限度）

\*予定数量に達した時点で締め切りとします。

### ◎生ごみの減量化にチャレンジしよう！

燃やせるごみの中の約3割が生ごみです。生ごみを堆肥化し、家庭菜園やガーデニングに使えば野菜や草花もよく育ち、家庭からのごみを減らすことができます。



## 愛媛の救急医療を守る

### 147万人の県民運動

保健福祉課 内線611

近年、休日や夜間に救急病院に患者さんが集中し、医師の負担が増えているほか、安易な救急車の呼び出しで出勤回数が増加し、重症な患者さんの搬送に困るケースも増加しています。

このままでは、住民の皆様にとって適切な医療を提供できなくなる恐れがあり、そうならないために「愛媛の救急医療を守る147万人の県民運動（愛救147運動）」を実施しています。

これは、医療機関や救急車の適切な利用を、皆さん一人ひとりに心掛けていただく取り組みですので、ご協力をお願いします。

### 普段からの心掛け

- ①日頃から「かかりつけ医」を持ちましょう。
- ②健康診断や検診等により、病気の予防や早期発見に努めましょう。
- ③家庭で薬を常備しましょう。  
受診にあたっての3つの心掛け
- ①なるべく医療機関の通常の診療時間内に受診しましょう。
- ②救急車で搬送されても、軽症

の場合は、通常の受付順となる場合があることに留意しましょう。

③休日などで比較的軽微な症状の方は、在宅当番医を利用しましょう。

### 症状は軽いけれど、どうすれば：

休日や夜間に、どの病院に行けばよいかわからない場合には、えひめ救急医療ネット（インターネット）を参考にされるか、最寄りの消防署をご利用ください。

お子さんの急な病気やけがの場合は、小児救急医療電話相談（#8000）をご利用ください。

## 9月9日は救急の日

総務課 内線235

9月6日～12日は救急医療週間  
救える命を救うために：

呼吸が止まる、心臓が止まる。それは人間の生死にかかわる非常に危険な状態です。その場に居合わせた人ができるだけ早く119番に通報し、救急車が到着するまでの間、AEDや心肺蘇生などの応急手当を行う。そして救急隊が引き継ぎ、救命処置を行いながら、医療機関に搬送する。この「救命の連鎖」を適切

れなく、できるだけ早く、つないでいくことが重要です。

### 救急車の適正利用を！！

救急搬送の約40%は軽症患者です。救急車は、「いざ」という時に利用しましょう。緊急性がないのに救急車を利用することは、一刻を争う救急患者の命が救えなくなる恐れがあります。救急車の台数は限られていますので、適正な利用をお願いします。

### 普通救命講習会（AED講習含む）

消防署では、誰でも気軽に参加できる講習会を毎月開催しています。

【日時】 毎月第2日曜日 9時～12時（修了証の交付あり）

【場所】 宇和島消防署

鬼北消防署でも受講できます。

日時等の希望については、鬼北消防署救急係 ☎45・2461までお問い合わせください。

### フジ広見店で

救急の日イベント開催

【日時】 9月9日(水) 15時～16時30分

【場所】 フジ広見店駐車場

【内容】 消防車両・防災啓発パネル・AED展示、煙模擬体験（雨天中止）